



早稻田大学 大学院情報生産システム研究科

Graduate School of Information, Production and Systems,
Waseda University

2023年度版

北九州発、 世界レベル。

北九州キャンパス



早稲田キャンパス他(東京)



早稲田大学
大学院情報生産システム研究科

先端技術の研究開発を志す国際的な研究者が集う大学院



大学院
情報生産システム研究科長

藤村 茂

早稲田大学大学院情報生産システム研究科(略称: IPS)は、2003年に北九州に設立され、アジアを中心に世界各国から学生が集う国際的な大学院として、かつ、最先端の技術を創出しモノづくりに役立て社会貢献を目指す大学院として存在価値を高めてきました。現在は、アジアを中心とした多くの留学生と日本人学生が、新技術の研究に対する高い志をもち、国境の垣根なくお互いに刺激を与えつつ、情報アーキテクチャ、生産システム、集積システムの3研究領域、もしくはそれらを相互連携する研究領域で高度な研究課題に熱心に取り組んでいます。

IPSには、様々なバックグラウンドをもつ学生が集い、産学官が連携した環境のもと、新技術のシーズ、企業ニーズ、我々の社会生活への新技術の融合を目指した理念の接点に触れ合うことができる刺激的な教育システムのもとで、高い目標を掲げ、常にチャレンジ精神を持続する素養を育むことを目指し、早稲田大学の3大教旨のもと、世界を見据えた人材の育成に取り組んでいます。基礎学力を十分に取得し、自身で考え問題を整理し研究を進めていく力を醸成し、実社会の動向を肌で感じ、最先端の技術を具現化し、実社会で役に立つ成果を実現できる人材を育成します。自分で考え目標を達成するために自ら努力をする経験は、将来の人生において大変貴重な財産となると考えています。

すでに3,000名を超える多くの優秀な学生がIPSを卒業し、自身の研究をやり遂げたという自負を持ち社会に飛び立っています。そして、現在、世界各国の産業界、研究機関、教育機関などでグローバルリーダーとして活躍しています。今後、さらにIPSは研究・教育機関としての躍進を続け、世界に発信できる先端技術の研究を促進し、世界で求められる人材を育成する教育拠点として、国内外での存在感を高めていきます。

大学院情報生産システム研究科における人材育成・教育研究等の目的

IPSでは、高い洞察力と高度な専門知識を活用して複雑化する現代の技術問題を解決し、新しい付加価値を創造しうる研究人材・技術人材の養成を目的としています。IPSの研究領域としては情報アーキテクチャ、生産システム、集積システムの3研究領域があります。IPSでの教育・研究を通して、基礎応用力と専門知識、情報リテラシーと問題発見力、論理的思考力と問題解決力、実践的リーダーシップと国際的コミュニケーション能力を身に着けることが期待されます。また、IPSが拠点を置く北九州では、自動車、ロボット、環境ビジネス等の新しい産業が広がりをみせており、企業との共同研究や国家プロジェクトに参加し研究成果を実際に応用することで、研究・開発の醍醐味を味わうことができます。IPSは北九州の地から世界レベルの研究成果を発信していきます。

早稲田大学 三大教旨

1913(大正2)年、創立30周年記念祝典において、総長大隈重信(当時)は早稲田大学教旨を宣言しました。早稲田大学の教育の基本理念を示す基本文書としての早稲田大学教旨は、高田早苗、坪内逍遙、天野為之、市島謙吉、浮田和民、松平康国などが草案を作成し、大隈重信が校閲の上祝典で発表したものです。1937(昭和12)年に教旨の碑文が早稲田大学正門前に設置され、今日に至っています。

学問の独立

あらゆる制約から解放された自由な批判精神が学問の独立の礎です。早稲田大学は学生・教員の自律的かつ自由な相互作用の中で学問研究を行い、その成果を世界に発信して学問の創造と発展に貢献していきます。

学問の活用

学問研究は学理の考究にとどまらず、文化・社会・産業への活用の道を拓くことによってさらに発展します。早稲田大学は、学理考究とそれに裏付けられた実践との相互作用を通じて新しい時代を拓いていきます。

模範国民の造就

庶民の教育を主眼として創設された早稲田大学。その3つめの建学の理念が「模範国民の造就」です。グローバリゼーションが進展する現代、豊かな人間性を持った「地球市民の育成」と言い換えることができるでしょう。建学の理念とそこから生まれ受け継がれてきた早稲田スピリットは、私たちの財産。早稲田人がひとしく身につける校風です。

Contents

研究科長挨拶 01

早稲田大学 三大教旨 02

IPSの国際性／IPSのプロジェクト 03

就職／人材育成 04

IPSの3分野 05

情報アーキテクチャ分野 教員紹介 07

生産システム分野 教員紹介 08

集積システム分野 教員紹介 09

学生 10

カリキュラム・設置科目 11

入試情報 12

学費／奨学金制度 13

キャンパスライフ・
北九州学術研究都市 14

IPSの国際性



世界トップレベルの工学エリートが集い、互いに刺激しあう国際的な研究環境がある。

留学生が約90%を占める、国際性豊かな研究環境。

IPSにはアジアを中心に世界各国から異なる言語、文化、社会的背景をもつ学生が集まっています。様々な外国語が飛び交うクロスカルチャー環境の中で、国際人としてのコミュニケーション能力を身につけることができます。

異なる文化や価値観を持つ学生と切磋琢磨できるグローバルな教育環境

IPSは国際的な教育環境を提供しています。日本にいながら海外留学を体験することができ、自然に英語に馴染むことができます。留学生の多い研究室のゼミ等では、英語文献の輪読や英語による活発な議論などが行われています。また、世界に通用する研究者やエンジニアを養成するため、多くの学生が国際会議で英語で発表する機会を持つよう、強力に推奨しています。

アジアを中心に海外トップクラスの大学と提携・交流。

IPSは、中国、韓国、タイ、マレーシアなどアジアを中心に数多くの海外の有力大学と提携や交流を進めています。

主な海外協定校

中國

北京理工大学 研究生院 自動化学院
北京化工大学 信息科学与技术学院
重庆大学 软件工程学院
大连理工大学 国际合作与交流处
復旦大学 信息科学与工程学院、他3学院
吉林大学
南京大学 软件学院·计算机科学与技术系
北京大学 情报科学与技术学院
上海交通大学 电子信息与电气工程学院
上海大学 大学院
四川大学 计算机学院、他8学院
華南理工大学 国际交流协力室

台灣

東南大学電子科学与工程学院、他10学院
同济大学 研究生院
清华大学 計算机科学与技术系
电子科技大学
厦门大学 信息科学与技术学院
西安电子科技大学
浙江大学 信息学部
南京邮电大学 光电工程学院
西安交通大学 電気工程学院
北京交通大学 経済管理学院
天津大学 理学部
中国地质大学(武汉)工程学院
武汉大学 计算机学院

マレーシア

マレーシ亞日本国际工科院
ペトロナス工科大学

ベトナム

ハノイ工科大学
・電子・電気通信学部
・情報通信技術学部
ホーチミンシティ工科大学
・電気・電子工学部
・コンピュータ科学・工学部
・機械工学部

韓国

全南大学 工学部
釜山大学 工学部
培材大学 コンピュータ工学科

タイ

チエンマイ大学 工学部
チュラロンコーン大学 工学部
タマサート大学
シリンドーン国際工学部

フィリピン

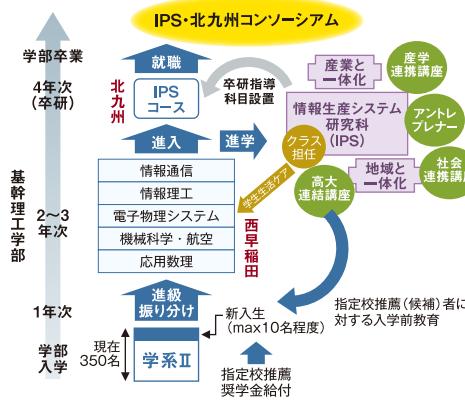
アテネオ・デ・マニラ大学
理工学院

国や地域、企業、他の研究機関と連携して、数多くのプロジェクトが進められています。

コンソーシアムを基盤とした教育・研究を展開

早稲田大学IPS・北九州コンソーシアム(IPSKC)からの客員教授による実社会ニーズに沿った教育、会員企業との実践的共同研究が行われています。地域志向型教育プログラムや、これからの中堅企業の在り方、産業構造の変化を睨んだプロジェクトも実施しています。

IPSKC : 産学連携講座(活動の例)



基幹理工学部と情報生産システム研究科との連携入試・教育プログラム(コンソーシアム、高大連絡含む)の概念図
<https://www.waseda.jp/top/news/47859>

連携大学院を再編・統合し「カーロボAI連携大学院」をスタート

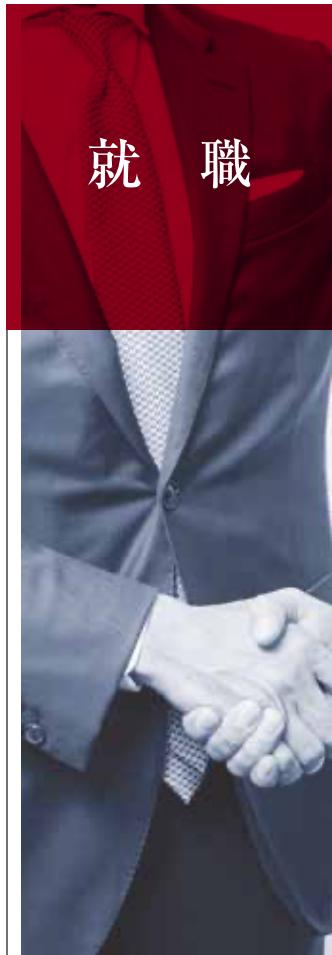
北九州学術研究都市内に隣接する3大学(早大、北九州市立大、九大)は各大学の強みを結集し、連携大学院として2009年度から『カーエレクトロニクスコース』、2013年度から『インテリジェントカー・ロボティクスコース』、2017年度から『AIサブコース』を開催してきた。2019年度から両コースおよびAIサブコースを統合・再編して『カーロボAI連携大学院』をスタートさせました。自動車の知能化・電動化の流れを先導し、知能ロボット技術およびAI技術をカバーする技術領域において、専門領域を極めるとともに周辺技術も理解し次世代のリーダーとして実践力を有する高度専門人材の育成を目的とし、修了生の産業界での活躍が期待されます。

活発な研究交流

IPSは科学技術の発展を支える教育研究機関として、国家レベルのさまざまなプロジェクトに参画してきました。また海外大学や企業とも連携し、最先端技術の開発のため毎年数多くの共同研究を実施しています。

【プロジェクト実績(進行中のプロジェクト含む)】

- 博士課程教育リーディングプログラム - 実体情報学博士プログラム
- スーパーグローバル大学創成支援
- NEDO/SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)/次世代パワーエレクトロニクス
- 科学技術振興調整費・振興分野人材養成プログラム基盤ソフトウェア
- 「アジア人財資金構想」高度専門留学生育成事業
- 戦略的大学連携支援事業
- グローバルCOEプログラム「アンビエントSoCの教育研究の国際拠点」
- 海外連携プロジェクト
- 知的のクラスター創成事業 第Ⅰ期
- 地域イノベーション戦略支援プログラム(旧知的クラスター創成事業 第Ⅱ期)



就職

早稲田ならではの、確かな就職実績。
有力企業で多くの卒業生が活躍しています。

■ 就職に強いIPS

ビジネスのあらゆる領域でグローバル化と情報化が求められている今、幅広い専門知識と創造性、確かな実践力とコミュニケーション能力を兼ね備えたIPSの修了者の活躍の場はますます広がっています。また、IPSは企業からの受託研究や共同プロジェクトをきっかけとした就職にも強みがあります。

■ 海外教育研究機関で活躍する IPS博士学位取得者の主な就職先

大連理工大学	華東理工大学
瀋陽理工大学	中山大学
東北財經大学	上海海事大学
延辺大学	陝西師範大学
北京交通大学	大理大学
南開大学	国立成功大学
河南财经政法大学	国立政治大学
河南工业大学	延世大学校
復旦大学	東義大学校
武汉大学	釜山國立大學
南京郵電大学	マレーシア・トゥン・ フセイン・オン大学
南京大学	マラッカ・マレーシア 技術大学
同濟大学	シンガポール国立大学
浙江工商大学	マラン州立大学
浙江工业大学	スタンフォード大学
西安交通大学	
東南大学	

修了生の主な就職先

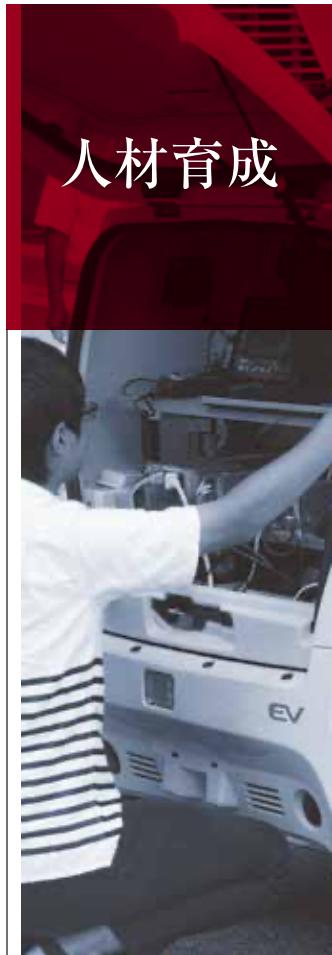
●電機・情報・通信・半導体	Samsung Electronics LG Electronics Huawei Technologies Alibaba Group	日立造船
●自動車	トヨタ自動車 日産自動車 本田技研工業 マツダ デンソー 三菱自動車工業 ダイハツ工業 ヤマハ アイシン精機 ジェイテクト	住友化学 三井化学 富士フイルム 東レ 大日本印刷 アサヒビール 日清食品ホールディングス
●鉄道・航空	JR各社 全日空 西日本鉄道	
●官公庁・金融・その他	国土交通省 北九州市役所 フランク立国科学研究センター 野村総合研究所 大和証券 長崎放送 仙台放送 西日本新聞社 三井住友銀行 ゆうちょ銀行 オリックス銀行 香港上海銀行 野村証券 清水建設 セコム	

注目を集めているIPS発のベンチャー企業

IPSの在学生や修了生のなかにはIPSでの研究成果を基に、広く社会へサービスを提供するベンチャー起業家もいます。博士後期課程修了生の吉永さんは「ログから新しい価値を創造する」ことをテーマに、カレンダーサービスやアプリケーションサービスを開発するサービス提供会社を設立し、現在IT業界の注目を集めています。



吉永 浩和
博士後期課程修了



人材育成

多彩な“学びの機会”へと開かれた環境で、ボーダレス時代のエクセレント・キャリアを養成。

■ 5つの戦略的人財「エクセレント・キャリア」を養成

- 世界レベルの先端的研究・開発を行う研究者
- 技術の社会的経済的インパクトが分かる経営者および管理者
- 経営戦略・戦略構想の立案ができるエンジニア
- 先端情報技術を活かしたアントレプレナー(起業家)
- 情報技術の知見を必要とするコンサルティング業務などに従事する者



IPS海外連携シンポジウム

■ IPSのコラボラーニング

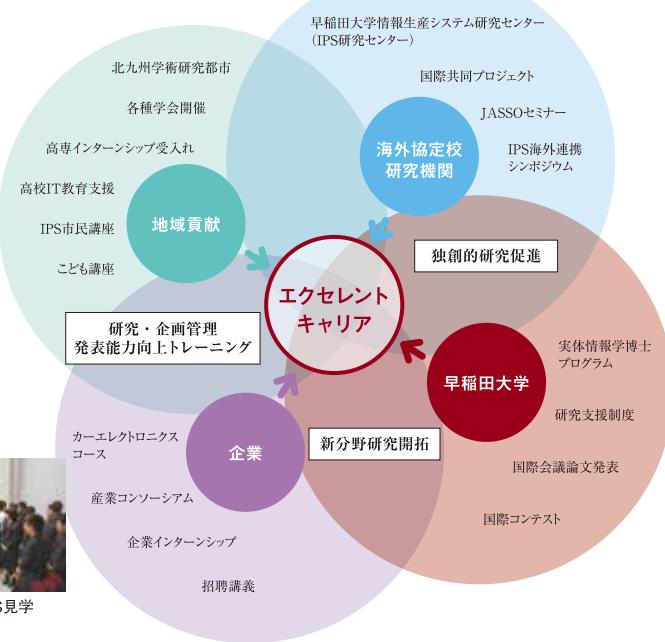
IPSは海外の大学や研究機関との連携、企業との共同研究、地域貢献の活動など、さまざまなプロジェクトに対して開かれた「コラボ・ラーニング」と呼ばれる独自の教育環境を整備しています。こうした協働的なプロジェクトの体験を重視した実践的教育によって、これから産業界をリードし、グローバルな舞台で活躍できるエクセレント・キャリアを育成します。



自動車会社製造工場における
エンジン組立・解体実習



地元中学校のIPS見学



IPSの3分野

IPSは「情報アーキテクチャ」「生産システム」「集積システム」の3つの分野から構成また、最先端の技術と経営の知識を取り入れた講義を用意し、大局観を持ちテクノロ

I 情報アーキテクチャ分野

メディアから経営工学まで、新たな情報活用をデザインする。



P 生産システム分野

次世代のものづくり技術を通して新しい価値を創造する。



S 集積システム分野

革新的な集積システムとそのための最先端のテクノロジの創造。



情報アーキテクチャ分野の特徴

情報センシングから伝送・分析・意思決定までの
情報通信技術全般をカバー

情報・AI技術の理論・応用教育と、産学連携を重視した
研究を軸とした高度技術人材を育成

さまざまなバックグラウンドをもつ学生に配慮し、
幅広いキャリア形成を支援

研究領域

- 情報・通信モデル ●計算知能 ●言語・メディア情報 ●社会／経営情報
- ロボティクス・メカトロニクス ●光ファイバシステム
- スマートインダストリー研究室 ●ニューロコンピューティング研究室
- データ工学研究室 ●イメージメディア研究室 ●バイオ情報センシング研究室
- 用例翻訳・言語処理研究室 ●バイオ・ロボティクス&ヒューマン・メカトロニクス研究室
- 光ファイバシステム研究室 ●コミュニケーション・コンピューティング研究室
- ネットワークインテリジェンスとセキュリティ研究室

生産システム分野の特徴

開発から材料・組立・製造、計測、制御、診断、物流、
経営までの生産活動に不可欠な領域をカバー

製造業のグローバル化に対応し、
アジアや世界で活躍できる研究者・高度技術者を養成

現場に即した実践的な環境で、
ソフト・ハード両面からの充実した教育・研究を実施

研究領域

- 機械設計・ロボット ●センサ・先進材料・応用計測
- システム制御・プロセス制御・エネルギー ●生体計測制御システム
- プロセス運用監視・設備保全管理
- 設計工学システム研究室 ●移動ロボティクス・プラットフォーム研究室
- システム制御研究室 ●マイクロナノ流体デバイス研究室
- 先端バイオエレクトロニクス研究室 ●機械システム設計研究室 ●生産プロセス工学研究室
- 薄膜機能材料研究室 ●パワー半導体デバイス研究室 ●生体医工学研究室

集積システム分野の特徴

応用集積システムとそのための基礎技術を幅広くカバー

企業との密な連携を有する教授陣による
実践的な研究と教育の提供

未来のIT社会を担う共同プロジェクトの
研究資金に基づく研究環境の提供

研究領域

- 音響・画像処理 ●アナログ・高周波回路
- 光集積回路 ●大規模/高速/低電力LSI
- システム最適化・検証 ●MEMSセンサー
- 知的音響システム研究室 ●画像情報システム研究室 ●集積システム最適化研究室
- 高位検証技術研究室 ●ディベンダブル情報システム研究室
- 無線通信回路技術研究室 ●マイクロ電気機械システム研究室
- 発光システム研究室 ●光電子集積システム研究室 ●新機能メモリシステム研究室

されており、各分野の枠を越えて相互につながり合う研究領域をハード・ソフト両面にわたって広く学ぶことができます。社会人学生も広く受け入れています。

実践を重視した教育体制

基礎的知識から最先端応用までカバーする科目群演習を通じた実践力の養成

- ・ディープラーニング
- ・データサイエンス
- ・自然言語処理
- ・メディア理解・応用
- ・通信・ネットワーク
- ・ヒューマンインターフェース

Society 5.0を切り拓く 社会に開かれた教育

技術力と共に、これからの中でも活躍するために必要な共創力、俯瞰力の養成を目指します。



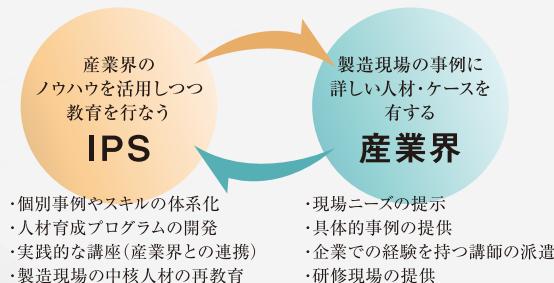
スマート社会をとりまく情報・システム化技術

人・モノ・情報から作り出される安全、安心な社会と快適な環境を創造します。

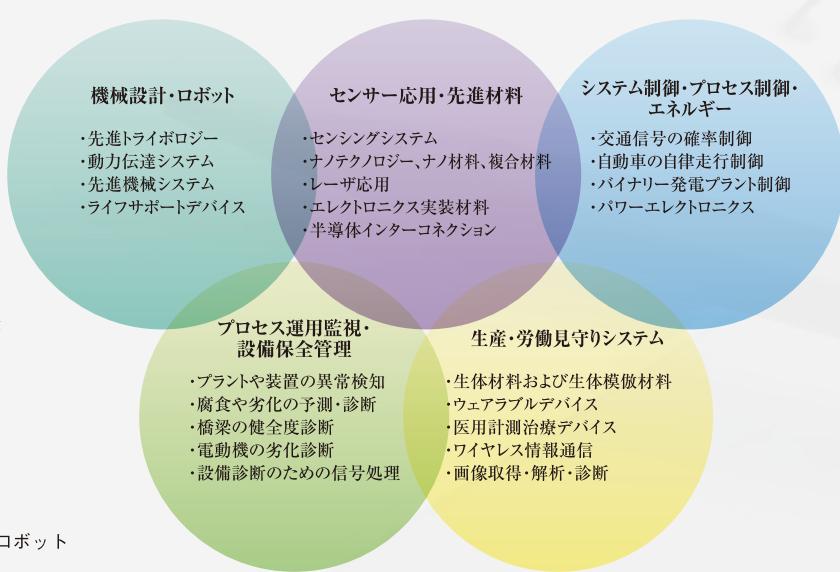
情報アーキテクチャ分野では、これからのスマート社会を支えるさまざまな情報・システム化技術の研究とその応用に取り組んでいます。



地域の産業界との連携



歩行アシストロボット



教育研究の特色

SoC(System on Chip)の設計と検証／テスト

- ・最先端の設計実習環境
- ・通信、画像処理などの実例対象

システム的な教育を実施

- ・ハードウェアとソフトウェアの両面
- ・アルゴリズムやソフトウェアの基礎から応用

SoCハードウェア設計教育

- ・FPGAデバイスによる試作
- ・研究を通じて実チップの設計／評価



外部機関や団体との連携

・電機、通信、半導体、自動車関連の産業界や研究機関との共同研究を広く実施

- ・国内外のトップクラス大学との研究交流



教員紹介

早稲田 IPS 教員

検索

● 情報アーキテクチャ分野



教授 藤村 茂
(ふじむら・しげる)
博士(工学)(早稲田大学)

【研究分野】
生産計画・スケジューリング
次世代生産システム
スマートファクトリ
サプライチェーンマネジメント
デジタルトランスフォーメーション
ビジネスプロセスモデリング

【メッセージ】
研究成果を世界に発信し研究の楽しさを実感しましょう。
お互いの意見を尊重し前向きに議論できる研究室です。

Web <http://www.smartindustry.jp/>



教授 松丸 隆文
(まつまる・たかふみ)
博士(工学)(早稲田大学)

【研究分野】
移動ロボットの遠隔操作システム
移動ロボットの意図・行動の予告
人間共存ロボットの形態・動作
人間共生ロボットの対人インタラクション
人の運動・動作の計測と解析
メカトロニクスの体系的な学習方法

【メッセージ】
領域や分野にとらわれない新しい考え方や高い能力をもった人々が集う場で、新しい分野を開拓しながら、一緒に成長しましょう。

Web <http://www.waseda.jp/sem-matsumaru/>
<http://www.f.waseda.jp/matsumaru/>



教授 古月 敬之
(ふるづき・たかゆき)
博士(情報工学)(九州工業大学)

【研究分野】
ニューラルネットワーク
遺伝的アルゴリズム
バイオインフォマティクス
システム同定と制御
最適化システム

【メッセージ】
読書が趣味。脳や生き物に関する興味がある人、
一緒に勉強・研究しましょう。

Web <http://www.waseda.jp/sem-hflab/>



教授 坪川 信
(つばかわ・まさと)
工学博士(北海道大学)

【研究分野】
光ファイバセンシング技術
光機能部品技術
高信頼ネットワークアーキテクチャ
光伝送システム技術

【メッセージ】
光技術には多くの可能性があります。
皆さんのクールなアイデアを期待しています。
是非一緒に研究しましょう。

Web <http://www.f.waseda.jp/tsubokawa.m/>



教授 岩井原 瑞穂
(いわいはら・みづほ)
博士(工学)(九州大学)

【研究分野】
データベース質問処理
Web情報システム
テキストマイニング
知識処理
ソーシャルメディア

【メッセージ】
山歩きや釣りなどが趣味で、
自然と親しみことが好きです。

Web <http://www.iwaihara-lab.org/pub/>



教授 吉江 修
(よしえ・おさむ)
工学博士(早稲田大学)

【研究分野】
パーティカルコミュニティ
エージェント
多人数インタラクション
eメンテナンス
合意形成過程
知識ロジстиクス

【メッセージ】
食べ歩きとドライブが趣味。
「実力のある人、一緒に研究しましょう！」



教授 鎌田 清一郎
(かまた・せいいちろう)
博士(工学)(九州工業大学)

【研究分野】
画像情報処理
パターン認識
バイオメトリクス
画像データベース
空間充填曲線とフラクタル

【メッセージ】
イメージをいつも大切にしています。
BGM音楽を聴くことが好きで、CDは約400枚あります。

Web <http://www.waseda.jp/sem-kamlabo011/>



教授 伍 軍
(ご・ぐん)
博士(国際情報通信学)(早稲田大学)

【研究分野】
ネットワークインテリジェンス
ネットワーク安全
インテリジェンス安全方法応用とシステム開発

【メッセージ】
ネットワークのスマート化と安全性を
さらに向上させましょう。



教授 亀岡 遼
(かめおか・じゅう)
博士(Cornell大学)

【研究分野】
バイオセンサー
IOMT
ウェラブルセンサー

【メッセージ】
釣りが大好きです。
新しいバイオセンサ計測システムを研究しましょう。



講師 家入 祐也
(いえいり・ゆうや)
博士(工学)(早稲田大学)

【研究分野】
エージェントシミュレーション
ヒューマンコンピュータインタラクション
拡張現実
Internet of Things
観光情報学

【メッセージ】
食べ歩きと旅行が趣味。
実社会・フィールドへの興味を大切にし、前向きな議論を通じて、一緒に研究成果を世界に発信していきましょう。



教授 ルパージュ・イヴ
(ルパージュ・イヴ)
博士(工学)(グルノーブル大学)

【研究分野】
機械翻訳
自然言語処理
用例知識取得
相違と類似・類推関係

【メッセージ】
言語処理についての新しい考え方・手法・課題を
スムーズな雰囲気で意見交換しましょう。

Web <http://lepage-lab.ipb.waseda.ac.jp/>

● 生産システム分野



教授 荒川 雅生
(あらかわ・まさお)
博士(工学)(早稲田大学)

【研究分野】
設計工学
多目的最適化
デザイン思考
故障診断

【メッセージ】

多目的最適化を中心に研究を広げております。これがどこでもドアのようなもので、様々な分野に入っていけます。毎年新しい発見があり、新しい設計方法を作ることができます。本当に楽しいですよ。



教授 立野 繁之
(たての・しげゆき)
博士(工学)(九州大学)

【研究分野】
生産プロセス工学
シミュレーション技術
信頼性工学
情報生産プロセス

【メッセージ】

趣味は機械いじり(特にパソコンの組立て)です。人のために役に立つ研究を行っていきたいと思っています。

Web <http://www.f.waseda.jp/tateno/>



教授 橋本 健二
(はしもと・けんじ)
博士(工学)(早稲田大学)

【研究分野】
自律移動システム
人型ロボット
次世代モビリティ
システムインテグレーション

【メッセージ】

社会課題を解決するための実践的なロボットシステムと一緒に開発しましょう。その開発を通して、工学的センスや設計力、問題発見解決能力を養いましょう。

Web <https://hashimoto-lab.jp/>



教授 李 義頃
(り・よしかつ)
工学博士(早稲田大学)

【研究分野】
インテリジェント・コントロール
ロボット群の協調行動学習制御
大規模系の非干渉制御
スライディングモード制御
超小型バインナリー発電の実用化
セルラーオートマトンによる交通流モデリングと
交通信号の確率的最適制御
ペイジアンネットワークと生産在庫管理

【メッセージ】

登山、キャンプ、スキー、釣り等のアウトドアが趣味です。自然を学びながら人間の知識、知恵、知能をコンピュータ制御で実現することを目指します。



教授 馬渡 和真
(まわたり・かずま)
博士(工学)(東京大学)

【研究分野】
マイクロナノ流体デバイス
ナノ空間溶液化学
超高感度化学・バイオセンシング
レーザー分光
ソフト(制御、信号処理、AI、システム化など)
上記の社会実装

【メッセージ】

化学、バイオ、機械、電気などが関係する分野横断領域ですので、いろんな専門分野の方と研究を進めたいと思います。



教授 三宅 丈雄
(みやけ・たけお)
博士(工学)(早稲田大学)

【研究分野】
バイオエレクトロニクス
バイオ発電デバイス
ウェアラブルデバイス
体内埋め込みデバイス

【メッセージ】

サッカー、スノーボード、BBQなどのアウトドアが趣味です。ヒトに安全で柔らかいデバイスを共に作りましょう。

Web <http://www.waseda.jp/sem-miyake/index.html>



教授 田中 英一郎
(たなか・えいいちろう)
博士(工学)(東京工業大学)

【研究分野】
機械設計
機構学
機械要素学
福祉工学

【メッセージ】

機械のメカニズムの素晴らしさを生かした、世の中に役立つものを創り出していくたいと思います。機械いじりに興味がある人、一緒に研究しましょう。

Web <http://www.f.waseda.jp/tanakae/index.html>



教授 植田 研二
(うえだ・けんじ)
博士(理学)(大阪大学)

【研究分野】
電子機能材料
薄膜結晶成長
カーボンエレクトロニクス
AIエレクトロニクス

【メッセージ】

私達は薄膜成長技術を駆使する事で、新機能材料を開発する取組みを行っています。新材料を創り出したい人やノマの世界に興味のある人は是非研究室をのぞいてみて下さい。

Web <http://www.f.waseda.jp/k-ueda/>



教授 犬石 昌秀
(いぬいし・まさひで)
工学博士(Northwestern University)

【研究分野】
パワーエレクトロニクス
パワー半導体デバイスと信頼性
回路シミュレーション用のモデリング

【メッセージ】

企業で34年間、半導体の開発を行ってきました。パワーエレクトロニクスにおける半導体デバイスを研究します。



教授 高橋 淳子
(たかはし・じゅんこ)
博士(工学)(東北大学)

【研究分野】
生体医工学
生体情報解析
医療機器技術
放射線力学療法
光線力学療法

【メッセージ】

生体を理解して医学を進展させるためには、工学的な考え方方が大切です。一緒に、アンメット・メディカルニーズ(いまだ満たされていない医療ニーズ)に取り組みましょう。



講師 メーヘシュ・ガーポル
(mehesh-karpel)
博士(工学)(九州大学)

【研究分野】
有機エレクトロニクス・フォトニクス
先端材料・デバイス
微生物電気化学システム
バクテリアエレクトロニクス

【メッセージ】

幸運にも私は、数ヶ国の最大かつ主要な研究所で、また製造業においても、経験を積んできました。お互いを尊重しあう雰囲気のもと、ともに研究に励み、成長していきましょう。趣味は合気道、キックボクシング、サイクリング、ハイキング、お茶を飲むことなどです。

オフィス

koho-ips@list.waseda.jp

093-692-5017

● 集積システム分野



教授 池永 剛
(いけなが・たけし)

博士(情報科学)(早稲田大学)

【研究分野】

動画像圧縮システム
動画像認識システム
動画像通信システム
デジタル信号処理LSI

【メッセージ】

かつて友人が活躍していたこともあり、
ずっと早稲田ラグビーを応援しています。

Web <http://www.f.waseda.jp/ikenaga/>



准教授 池橋 民雄
(いけはし・たみお)

博士(理学)(東京大学)

【研究分野】

MEMSセンサ
(モード局在化センサ、振動計、ジャイロ、フローセンサ)
MEMS応用システム
MEMS回路融合デバイス

【メッセージ】

センサからアクチュエータまで、様々な分野に応用されているMEMSの研究と一緒にやりませんか？趣味はジョギングとロードバイクとドライブです。



教授 木村 晋二
(きむら・しんじ)

工学博士(京都大学)

【研究分野】

高位設計と検証
応用指向の高位合成
ハードウェア／ソフトウェア協調設計
テスト容易化設計

【メッセージ】

趣味は読書で、特にミステリが好きです。
好きな言葉は親切、丁寧、思いやりです。

Web <http://www.waseda.jp/sem-vlsi/>



准教授 破塙 孝明
(かきつか・たかあき)

博士(工学)(九州大学)

【研究分野】

半導体レーザー、発光素子
光回路シミュレーション
ナノフォトニクス
光信号処理

【メッセージ】

半導体レーザーとその情報通信応用を研究しています。光技術は様々な分野で発展を続けており、多くの知識とアイデアが活かせる研究領域です。「光る」技術と一緒に切り拓いていきましょう。



教授 牧野 昭二
(まきの・しょうじ)

博士(工学)(東北大学)

【研究分野】

ブラインド音源分離
音声強調
音環境の認識と理解
音響信号処理

【メッセージ】

研究成果を世界に発信し、世界中の仲間と切磋琢磨しながら、研究の楽しさを実感しましょう。
趣味は散歩、旅行、スキー、ダイビングです。



准教授 高畠 清人
(たかはた・きよと)

博士(工学)(東京工業大学)

【研究分野】

光電子集積回路
半導体光デバイス
シリコンフォトニクス
マイクロ波フォトニクス

【メッセージ】

フォトニクスとエレクトロニクスを融合する光電子集積技術は超スマート社会を支える重要な技術です。一緒に、将来の社会に役立つ新しい光電子集積デバイス・システムの研究に取り組みましょう。趣味はスポーツと旅行です。



教授 篠原 尋史
(しのはら・ひろふみ)

博士(情報学)(京都大学)

【研究分野】

デイベンダブルLSI
ハードウエアセキュリティ
統計的計算
エネルギー高効率回路・システム技術

【メッセージ】

メモリを手始めにロジックや極低消費電力技術などの研究開発を、企業内や大学との共同で行ってきました。あなたの発見・発明で社会に役立つシステムを提案出来たら面白いと思いませんか？興味のある方歓迎です。趣味は近場の山登り。下りではトレラン(?)にチャレンジも。

Web <https://www.waseda.jp/sem-dpnd/>



教授 大澤 隆
(おおさわ・たかし)

博士(工学)(筑波大学)

【研究分野】

不揮発性ワーリングメモリ
新機能メモリシステム
ストレージ・クラス・メモリ(SCM)
ニューヨモルフィック・デバイス

【メッセージ】

人工知能に適したメモリの研究を目指しています。メモリに興味のある人、是非一緒に議論しましょう。趣味は音楽です。



教授 山崎 慎太郎
(やまさき・しんたろう)

博士(工学)(京都大学)

【研究分野】

最適設計
集積システム
モビリティ
機械学習

【メッセージ】

企業にて集積デバイス製造の実際を学び、大学にて最適化の研究に取り組んで来ました。集積システムの最適化は社会に様々な革新をもたらす可能性に満ちています。世界を変える研究に共に挑んでみませんか。

Web http://www.f.waseda.jp/s_yamasaki/index.html



講師 西澤 真一
(にしさわ・しんいち)

博士(情報学)(京都大学)

【研究分野】

スタンダードセルライブラリ設計
ばらつき考慮化設計
設計自動化

【メッセージ】

半導体デバイスのスケーリングは物理的な限界に近づいています。プロセスと設計の共同最適化を組み合わせることで、物理レベルの設計でこの問題をさらに克服しようとっています。



教授 吉増 敏彦
(よします・としひこ)

博士(学術)(神戸大学)

【研究分野】

無線通信用高周波IC(RFIC)の回路設計技術
アナログ回路設計技術
高周波デバイス評価技術・モデリング

【メッセージ】

無線通信機器は私たちの生活・仕事の必需品となりました。(携帯電話、カーナビ、衛星放送など)今後も私たちの生活をさらに豊かにしていくため、無線通信用高周波ICの研究と一緒にしませんか。

Web <http://www.f.waseda.jp/yoshimasu/>



客員教授 藤野 直明
(ふじの・なおあき)

【研究分野】

産業政策 オペレーションズマネジメント
サプライチェーンマネジメント フィジカルインターネット
DX(デジタルトランスフォーメーション)

【メッセージ】

情報技術の発展と新興国の高い経済成長率とが経営戦略に大きなインパクトを与えています。多様なシステムが相互に連絡するシステムオブシステムズの時代が到来し、産業構造、ビジネスモデル、イノベーションモデルの変革が求められています。起業家、経営者、コンサルタントを志向する方、広く科学技術と社会を俯瞰したい方、是非、一緒に議論しましょう。

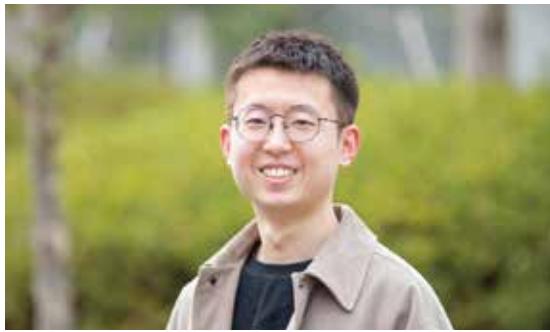
Web <https://www.nri.com/jp/people/lst/iis/fujino>

研究に関する相談、教員とコンタクトを取りたい方はこちらへ

オフィス

✉ koho-ips@list.waseda.jp

📞 093-692-5017



徐 哲煥 XU, Zhewei

浙江大学卒

2021年4月博士後期課程入学(岩井原研究室)



早稲田大学のIPSには、研究を行うための素晴らしい環境が整っています。ここには高度な研究設備が備わっていて、いずれも利用しやすく、研究を進めやすい環境です。IPSには多種多様な研究プログラムや研究テーマがあり、自分が取り組むものを興味に合わせて選択することができます。私たちの研究室が重点的に取り組んでいる研究テーマは、テキスト分類、センチメント分析、ドキュメント要約、キーフレーズ抽出といった情報検索・データ工学です。定期的に開かれるミーティングでは、指導教授や研究室のメンバーとの情報交換や議論を行う機会が得られます。また、学術フォーラムや国際会議への参加も奨励されており、こうした場に参加することで世界中の学者たちと意見を交換し、多角的な視点を持ち、自身の研究分野への理解をより深めることができます。



イジエット マシュー タルボット EGRET, Matthew Talbot

ジョージア大学卒

2021年9月修士課程入学(ルバージュ研究室)



United States
of America



堺 美結 SAKAI, Miyu

早稲田大学基幹理工学部卒

2022年4月修士課程入学(高橋研究室)



早稲田大学大学院情報生産システム研究科(IPS)には、様々なバックグラウンドを持つ学生が多数在籍しており、異なる文化や価値観を持った仲間と一緒に切磋琢磨しながら研究活動に励むことが出来ます。またIPSでは「情報アーキテクチャ」「生産システム」「集積システム」の3つの分野から構成されています。興味、関心を持ち且つ自分に合った分野の研究テーマを選択でき、また地域の他大学や研究所、企業などと連携し数多くの研究開発が行われていることも魅力の一つです。私が所属する研究室のテーマは「生体医工学」という分野で、光や放射線技術の医療応用を中心しております。研究室では定期的にゼミが開かれ、指導教授や研究室のメンバーとのディスカッションを通して、自身への研究分野への理解をより深める事が出来ます。よって、研究分野が多岐にわたるIPSでは充実した環境下で、自分に合った研究テーマを見つけることができると思います。



ガトゥス ダニエラマリー ベルトラン GATUS, Daniella Marie Beltran

フィリピン大学ディリマン校卒

2021年9月修士課程入学(三宅研究室)



早稲田大学大学院情報生産システム研究科には幅広い研究分野が揃っています。外国人研究者として調査研究の視野を広げるとともに、日本文化を楽しむ機会にも恵まれています。興味のある科目から選べる研究室には高度な研究施設や設備が整い、その中でスキルを高め、研究分野の専門知識を分かち合うことができます。先端バイオエレクトロニクス研究室では、ウェアラブルで生体に馴染む電子デバイスを製作し、ヒトとエレクトロニクスの間にかかる壁を壊すことに注力しています。成功へつながる国内外の会議があなたを待っています！



黄 日東 HUANG, Ridong

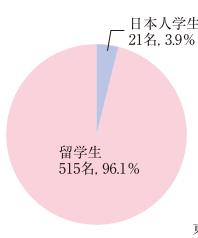
西安電子科技大学卒

2021年9月修士課程入学(木村研究室)

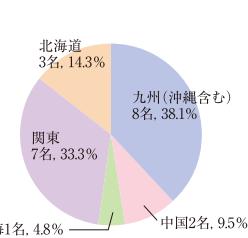


China

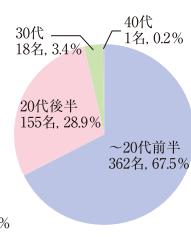
IPSには自由で、設備が充実した基盤が整っており、希望の研究分野を選ぶための機会も豊富です。IPSにはさまざまな科目が揃っているため、自分の希望や研究の目的、日常的に使用する言語に応じて好きな科目を選択できます。研究分野も幅広く、いつも親切に根気よく対応してくださる素晴らしい先生方と一緒に会話をすることもできます。研究方針が決まれば、毎週のゼミで教授による指導を受け、研究について自分で考える力を伸ばせるでしょう。また、就職するか博士号を目指してさらに研究を続けるか、修士課程修了後の進路を決める際にも、IPSの教授陣や職員の方々がいつでも喜んで相談に乗ってくれます。



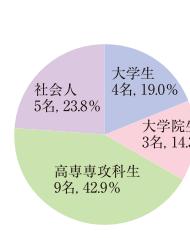
国・地域別



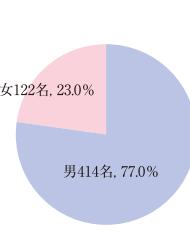
出身地別(日本人学生)



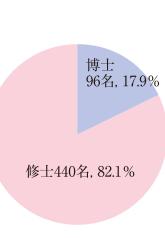
年代別



出身学校別(日本人学生)



男女別



課程別

カリキュラム・設置科目

(2024年度予定)

早稻田 IPS カリキュラム

検索

自身の専門のみならず、分野の枠組みを越えた知識と技術を幅広く習得することができます。同時に、理工系とは異なるバックグラウンドを持つ学生にとっても、研究活動へスムーズに移行できるよう配慮されたカリキュラムを実現しています。

修士課程入学から修了まで

修士課程の修了要件は、大学院修士課程に2年以上在し、授業科目について所定の単位を修得し、修士論文の審査および試験に合格することです。入学後の半年間は研究室に仮配属します。その後修了するまでの1年半の間は、研究室に本配属します。その後修了するまでの1年半の間は、研究室に本配属します。研究室配属は、希望する研究室の指導教員と面談の上、仮配属を経て本配属に進みます。なお仮配属後に、研究室を変更して本配属に進むことは可能です。



科目修得条件および修了要件

科目区分	修了要件
授業科目	基礎講義科目
	専門講義科目
	実験科目
	特論(必修)
	演習(必修)
	合計
修士論文(必修・単位なし)	

*基礎講義科目は、4単位を超えて履修しても修了必要単位数として認められません。※各判定時までに必要な単位数です。(判定毎に新たに必要となる単位数ではありません。)

基礎講義科目

春学期2単位			秋学期2単位		
・多変量解析 ・応用統計データ処理 ・データ構造とアルゴリズム ・ネットワークセキュリティ ・アナログCMOS回路 ・機構学	・基礎IOMT ・最適化技術とその応用 ・確率・統計 ・制約理論 ・デジタル信号処理 ・テクニカルライティング&プレゼンテーション	・微生物エネルギー変換・センシングシステム ・固体物理学 ・制御工学	・スペクトロスコピー ・プログラミング基礎 ・メカトロニクス ・システムLSI概論 ●計算知能工学 ・量子電磁気学	・ロボット工学 ・基礎数学 ・デジタル回路 ・センシング工学 ・表面科学 ・量子電磁気学	・シミュレーション技術 ・有機エレクトロニクス基礎Ⅰ ・経営システム工学基礎 ・有機エレクトロニクス基礎Ⅱ ・結晶材料学

専門講義科目

情報アーキテクチャ分野	生産システム分野	集積システム分野	共通分野		
春学期2単位					
●自然言語処理 ●ヒューマンロボットインタラクション ●機械翻訳技術 ◆集合知識論(夏クオーター) ・セグメンテーションアルゴリズム ・データベース ・バイオセンサー工学	●自動車工学 ・モーデリングと制御 ・バイオエレクトロニクス ・自律移動ロボット概論 ・計測分析デバイス工学 ・多目的意思決定と応用 ・生体情報工学	・機械運動力学 ●信頼性工学 ・バイオエレクトロニクス ・自体移動ロボット概論 ・計測分析デバイス工学 ・多目的意思決定と応用 ・生体情報工学	・マイクロプロセッサ ・新機能メモリ ・伝送回路 ・システムLSIアーキテクチャ ・機械材料学	・MIEMSデバイス工学 ・レーザ工学 ・光回路シミュレーション技術 ・VLSI物理設計自動化特別演習Ⅱ ・システムLSI設計 ・レイアウト設計 ・省エネルギーLSIシステム ・光電子集積回路	◆経営戦略としての オペレーションマネジメント(春)
秋学期2単位					
★コミュニケーション・コンピューティング特別演習Ⅰ ●スマートファクトリー(I)(秋クオーター)	●バタン認識 ・バイオマイクロマシン ・ヒューリスティックサーチ設計と応用 ◆情報管理(秋クオーター) ・バイオインフォマティクス・情報セキュリティ論 ・情報組織化論 ★コミュニケーション・コンピューティング特別演習Ⅱ ◆スマートファクトリー(I)(秋クオーター)	・医療機器工学 ・ヒューリスティックサーチ設計と応用 ◆情報管理(秋クオーター) ・パワーハイブデバイス工学 ・パワーデバイスの製造と信頼性 ・マイクロナノ流体工学 ・機械要素設計	・集積システム実装概論 ・高速・高周波LSI設計 ・システムLSI設計 ・映像信号処理 ・テスト容易化設計 ・ディベンダブルLSIシステム・音響信号処理	・光半導体デバイス ・レーザ工学 ・光回路シミュレーション技術 ・アナログLSI設計 ・有限要素解析 ・ディベンダブルLSIシステム・音響信号処理	◆経営戦略としての オペレーションマネジメント(秋)

●カーロボAI連携大学院コース科目 ★修了要件の単位に含まれません。◆1単位科目

実験科目

情報アーキテクチャ分野	生産システム分野	集積システム分野
秋学期2単位		
情報アーキテクチャ実験		生産システム実験

特論

情報アーキテクチャ分野	生産システム分野	集積システム分野
秋学期2単位		
情報アーキテクチャ実験		

演習

情報アーキテクチャ分野	生産システム分野	集積システム分野
A(秋学期2単位)、B(春学期4単位)、C(春学期2単位)、D(秋学期2単位)		
スマートインダストリー演習A,B,C,D ・用例翻訳・言語処理演習A,B,C,D ・ニューロコンピューティング演習A,B,C,D ・データベース演習A,B,C,D ・イメージメディア演習A,B,C,D ・バイオ情報セシング演習A,B,C,D	・設計工学システム演習A,B,C,D ・バイオエレクトロニクス演習A,B,C,D ・移動ロボティクス・プラットフォーム演習A,B,C,D ・光ファイバシステム演習A,B,C,D ・パワー半導体デバイス演習A,B,C,D ・システム制御演習A,B,C,D ・マイクロナノ流体デバイス演習A,B,C,D	・画像情報システム特論 ・知的音響システム特論 ・ディベンダブル情報システム特論 ・光電子集積システム演習A,B,C,D ・発光システム特論 ・システム最適化特論 ・集積システム最適化演習A,B,C,D ・知的音響システム演習A,B,C,D ・無線通信回路技術特論 ・高位検証技術特論 ・光電子集積システム特論 ・新機能メモリシステム特論 ・マイクロ電気機械システム特論

*特論、演習の講義要項は、Webシラバス、科目登録画面から参照できます。Webシラバス : <https://www.wsl.waseda.jp/syllabus/JAA101.php> ※設置科目は変更になる場合があります。

入試情報

2024年4月および9月入学用

早稲田 IPS 入試

検索

詳細は入試要項で確認してください。入試要項および出願書類はIPSウェブサイトよりダウンロードできます。▶<https://www.waseda.jp/fsci/gips/applicants/admission/application/>
※入試要項は変更になる場合があります。

IPSの課程・学位

専攻・課程	入学定員	収容定員	入学時期	学位
情報生産システム工学専攻 修士課程	200	400	4月・9月	修士(工学)
情報生産システム工学専攻 博士後期課程	20	60	4月・9月	博士(工学)

○募集分野／情報アーキテクチャ分野、生産システム分野、集積システム分野 ○募集人数／(4月、9月入学の合計) 修士課程／200名、博士後期課程／20名

国内出願 [修士課程・博士後期課程]

[2024年4月入学]

	出願期間(最終日消印有効)	試験日(いずれか1日)	合格者発表	第1次入学手続期間(最終日必着)	第2次入学手続期間
7月実施入試	2023年5月29日(月) ～6月16日(金)	2023年7月7日(金) 2023年7月8日(土)	2023年7月14日(金)	2023年11月6日(月) ～11月13日(月)	2024年3月上旬
10月実施入試	2023年9月4日(月) ～9月22日(金)	2023年10月13日(金) 2023年10月14日(土)	2023年10月20日(金)		
2月実施入試	2024年1月9日(火) ～1月22日(月)	2024年2月9日(金) 2024年2月10日(土)	2024年2月16日(金)	2024年2月22日(木) ～2月29日(木)	

[2024年9月入学]

	出願期間(最終日消印有効)	試験日(いずれか1日)	合格者発表	第1次入学手続期間(最終日必着)	第2次入学手続期間
2月実施入試	2024年1月9日(火) ～1月22日(月)	2024年2月9日(金) 2024年2月10日(土)	2024年2月16日(金)	2024年4月1日(月) ～4月8日(月)	2024年8月中旬
7月実施入試	2024年6月3日(月) ～6月21日(金)	2024年7月12日(金) 2024年7月13日(土)	2024年7月19日(金)		

国外出願 [修士課程・博士後期課程、Gコース(海外協定校推薦者のみ)]

[2024年4月入学]

	出願期間(最終日必着)	合格者発表	第1次入学手続期間(最終日必着)	第2次入学手続期間
7月実施入試	2023年5月29日(月) ～6月16日(金)	2023年7月14日(金)	2023年11月6日(月) ～11月20日(月)	2024年3月上旬
10月実施入試	2023年9月4日(月) ～9月22日(金)	2023年10月20日(金)		
12月実施入試	2023年11月13日(月) ～11月27日(月)	2023年12月21日(木)	2024年1月10日(水) ～1月24日(水)	

[2024年9月入学]

	出願期間(最終日必着)	合格者発表	第1次入学手続期間(最終日必着)	第2次入学手続期間
12月実施入試	2023年11月13日(月) ～11月27日(月)	2023年12月21日(木)	2024年4月1日(月) ～4月15日(月)	2024年8月中旬
2月実施入試	2024年1月9日(火) ～1月22日(月)	2024年2月16日(金)		
6月実施入試	2024年4月15日(月) ～5月2日(木)	2024年6月7日(金)	2024年6月14日(金) ～6月28日(金)	

入試区分ごとの個別条件と選考方法

IPSでは3つの入試区分を設け、専門知識の他、学習意欲と問題意識を重視して合否を判定します。

入試区分	個別条件		主な提出書類	選考方法 ^{※1}	
	修士課程	博士後期課程		書類審査	面接試問
一般入試	—	—	・研究計画書 ・卒論または修論または業績報告書 ・成績証明書 ・英語能力証明書	実施	実施
推薦入試	・卒業論文指導教員等、本人の学力を評価できる方の推薦があること。 ・学業成績が優れていること。 ※具体的な成績基準は設けていません。	・修士論文指導教員等、本人の学力を評価できる方の推薦があること。 ・学業成績が優れていること。 ※具体的な成績基準は設けていません。	・研究計画書 ・推薦書(他薦) ・卒論または修論または業績報告書 ・成績証明書 ・英語能力証明書	実施	実施
社会人入試	・企業、官公庁、教育機関等に在職している者、または在職していた者。 ・業務上特筆すべき業績を有する者。	・企業、官公庁、教育機関等に在職している者、または在職していた者。 ・業務上特筆すべき業績を有する者。	・研究計画書 ・推薦書(自薦または他薦) ・業績報告書 ・成績証明書 ・英語能力証明書	実施	実施

※国外出願の方は、面接試問を行わず、原則として書類選考のみとします。

カリキュラム・入試等に関するお問い合わせ

オフィス

gakumu-ips@list.waseda.jp

093-692-5017

学費

(2024年度入学)

早稲田 研究科 学費

検索

2024年度の学費等については現段階では未定ですので、下記の2023年度の学費等をご参照ください。

[参考] 2023年度の学費等

修士課程

年 度	納入期	入学金	学費・諸会費			(単位:円)
			授業料	実験演習料	学生健康増進互助会費	
第1学年	入学時	200,000	557,000	25,000	1,500	783,500
	第2期	—	557,000	25,000	1,500	583,500
	計	200,000	1,114,000	50,000	3,000	1,367,000
第2学年	第1期	—	657,000	25,000	1,500	683,500
	第2期	—	657,000	25,000	1,500	683,500
	計	—	1,314,000	50,000	3,000	1,367,000

博士後期課程

年 度	納入期	入学金	学費・諸会費			(単位:円)
			授業料	実験演習料	学生健康増進互助会費	
第1学年	入学時	200,000	353,500	25,000	1,500	580,000
	第2期	—	353,500	25,000	1,500	380,000
	計	200,000	707,000	50,000	3,000	960,000
第2学年	第1期	—	453,500	25,000	1,500	480,000
	第2期	—	453,500	25,000	1,500	480,000
	計	—	907,000	50,000	3,000	960,000
第3学年	第1期	—	453,500	25,000	1,500	480,000
	第2期	—	453,500	25,000	1,500	480,000
	計	—	907,000	50,000	3,000	960,000

*他大学出身の修士課程正規入学者の方は、最終学年・最終学期に校友会費40,000円が必要となります(卒業後10年分)。

本学学部出身者・編入学・一貫制博士課程・博士後期課程・ダブルディグリー・科目等履修生・非正規生は納入の対象外となります。

早稲田 IPS 奨学金

検索

奨学金制度

奨学金制度で、留学生にも安心な研究生活を

IPSでは、入学後の学生の大学生活をサポートするため、本学独自の様々な「学内奨学金」をはじめ、国や民間団体の「学外奨学金」など充実した奨学金を整えています。特にIPSで学ぶ留学生には、財団法人北九州産業学術推進機構(FAIS)による「北九州学術研究都市奨学金」、福岡県国際交流センターによる「福岡県国際交流センター留学生奨学金」などIPSならではの奨学金が充実しています。以下は、2022年度IPS在籍学生の受給実績です。これらを含め詳細については、入学後に配付する奨学金情報冊子を参考にしてください。

2022年度 奨学金受給実績一覧

※“-”：募集対象外

	奨 学 金 名 称			支 給 額		受給期間	受給者数	
	日本学生支援機構	利子	修 士	博 士	修 士		修 士	博 士
日本人学生対象	日本学生支援機構大学院第一種奨学金	貸与	無	¥50,000～¥122,000／月	—	1～3年	6	2
	日本学生支援機構第二種奨学金	貸与	有	¥50,000～¥150,000／月	—	1～3年	1	0
	日本学生支援機構入学時特別増額貸与奨学金	貸与	有	¥100,000～¥500,000／一時金	入学時一時金	0	0	0
	学内奨学金 小野梓記念奨学金	給付	—	¥400,000／年	—	1年	3	—
	学外奨学金 三井金型振興財团奨学金	給付	—	¥50,000／月	—	正規修業年限	0	—
外国人留学生対象	学内奨学金	私費外国人留学生授業料減免奨学金	減額	授業料の50%	—	年1回	22	—
		渡日前入試予約採用奨学金	給付	¥500,000／年	—	2年	21	—
		小野梓記念外国人留学生奨学金	給付	¥400,000／年	—	1年	8	0
		早稲田大学緊急奨学金	給付	—	¥400,000／年	1年	0	0
	学外奨学金	国費留学生	給付	¥144,000～¥145,000／月+授業料	—	正規修業年限	4	1
		スーパーグローバル大学創成支援事業 国費留学生	給付	¥144,000～¥145,000／月+授業料	—	最長1年	0	0
		私費外国人留学生学習奨励費	給付	—	¥48,000／月	最長1年	76	2
		中国国家建設高水準大学留学生	給付	—	¥150,000／月+授業料	正規修業年限	—	—
		中国国家建設高水準大学公費派遣研究生受入制度 博士後期課程1年特別	給付	—	¥150,000／月+授業料	正規修業年限	—	3
		福岡県国際交流センター留学生奨学金	給付	—	¥20,000／月	1年	1	0
		北九州市学術研究都市奨学金	給付	—	¥300,000／半年	1年	13	0
規定なし	学内奨学金	閑原大連市留学生奨学金	給付	—	¥20,000／月	1年	1	0
		大隈記念奨学金	給付	—	¥400,000／年	1年	2	—
		旭興産グループ奨学金	給付	—	¥500,000／年	1年	4	—
		大川功情報通信学術奨学金	給付	—	¥100,000／年	1年	—	—
	研究奨励費等	博士後期課程若手研究者養成奨学金	給付	—	¥500,000／年	1年	—	43
		早稲田オープン・イノベーション・エコシステム挑戦的研究プログラム (W-SPRING)	給付	—	生活費相当額 および研究費 上限¥2,900,000／年	正規修業年数	—	17

(￥:日本円)
(2022年12月現在)

奨学金受給モデルケース

A 日本人修士課程学生 Aさんのケース	
旭興産奨学金	¥500,000／年×
日本学生支援機構第一種（貸与）	¥88,000／月×1
年額	¥1,556,000

B 留学生修士課程学生 Bさんのケース	
私費外国人留学生学習奨励費	¥48,000／月×12
授業料減免	

C 留学生博士後期課程学生 Cさんのケース	
博士後期課程	¥500,000／年
若手研究者養成奨学金	
私費外国人留学生学習奨励費	¥48,000／月×12
年額	¥1,076,000

大學院博士後期課程若手研究者養成獎學金制度

早稲田大学は、2009年度入学者より、大学院博士後期課程において優秀な若手研究者を養成することを目的とした奨学金制度を設立しています。

この奨学金は、授業料を免除されている学生を除く博士後期課程の標準修業年限内の在学生で、本奨学金の出願資格をすべて満たし、所定の出願書類を提出した者のうち適格者全員が年額50万円(単年度給付)を受給できる制度です。

または奨学課ホームページ <https://www.waseda.jp/inst/scholarship/> にて確認してください。

キャンパスライフ・北九州学術研究都市

北九州市は新しい研究生活のステージ

IPSがある北九州市は、九州の北端に位置する人口約100万人の政令指定都市です。中国や韓国に近いという地理的な条件に恵まれ、古くからアジアとの交流拠点となっていました。現在は「北九州ルネッサンス構想」によって学術研究都市と地域産業の連携を図り、国際的なテクノロジー都市へと変貌を遂げつつあります。また、北九州市には海岸や山、緑地など豊かな自然を満喫できるスポットが市内各所にあり、スポーツやレジャーなどが気軽に楽しめるほか、首都圏に比べて経済的にも暮らしやすく、ゆとりある研究生活を送ることができます。

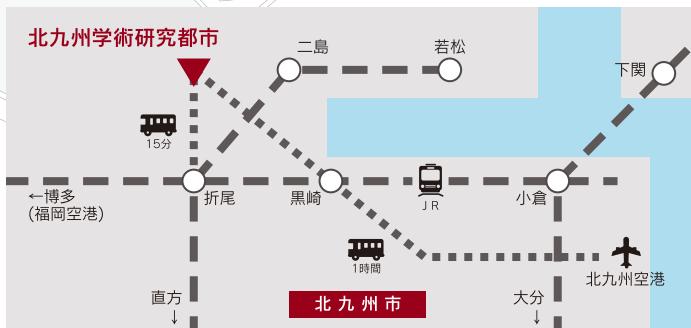
IPSの位置する北九州学術研究都市

- 4大学と10研究機関が同一キャンパスに集積
 - 最先端の“知”が集うアジアの中核的な学術研究拠点
 - 地域企業との連携による技術の高度化と新産業の創出



1カ月あたりの生活費例

家賃(留学生寮)	食費	約20,000円
約12,000～20,000円	電気・ガス・水道・通信費	約20,000円
家賃(民間アパート)	交遊費	約15,000円
約32,000～45,000円		
	合計	約67,000～100,000円



学費や奨学金、宿舎に関するお問い合わせ

オフィス

✉ gakumu-ips@list.waseda.jp

093-692-5017

早稲田大学 大学院情報生産システム研究科

〒808-0135 福岡県北九州市若松区ひびきの2-7

早稲田大学大学院情報生産システム研究科事務所

アドミッションズオフィス

✉ koho-ips@list.waseda.jp

TEL.093-692-5017 FAX.093-692-5021

➥ <https://www.waseda.jp/fsci/gips/>



●台北オフィス

台北市中山區南京東路2段167號 新光人壽南京科技大樓10樓 104475

TEL.+886-2-2507-4501 ✉ taipei-office@list.waseda.jp

●シンガポールオフィス

Singapore Office, 57 West coast Road, Singapore 127366

TEL.+65-6771-8185 ✉ waseda-singapore@list.waseda.jp

●バンコク事務所

Waseda Education (Thailand) / Bangkok Office, 1 Empire Tower, 5th Floor,
Room 501, South Sathorn Road, Yannawa Sub-district, Sathorn District,
Bangkok 10120 Thailand

TEL.+66-2-6703456

✉ info@waseda.ac.th (Thai), thaiwaseda@gmail.com (日本語)

●ブリュッセルオフィス

〈訪問先住所〉Brussels Office, Av. A. Depage, 1, 1050, Brussels, Belgium

〈郵送先住所〉Brussels Office, Av. F. D. Roosevelt, 50, CP 131/2, 1050,
Brussels, Belgium

TEL.+32-2-650-3048 ✉ brussels-office@list.waseda.jp

●ニューヨークオフィス

WASEDA USA New York Office.

600 Third Avenue, 2nd Floor, New York, NY 10016 USA

●サンフランシスコオフィス

WASEDA USA San Francisco Office, 64 Shattuck Square,

Suite 220 Berkeley, CA 94704 USA

TEL.+1-510-833-2150 ✉ infowasedausa@list.waseda.jp